

平成24年 6月 22日

担 当 第6学年

武田 泰浩

1 ねらい

石器作りなどの体験活動を通して、縄文時代の人々の生活を理解する。

2 評価

縄文時代の文化に関心をもち、縄文時代の生活用具を作ろうとしている。

3 学習活動について

・単元名「縄文のむらから古墳のくにへ」（社会科）

・単元の目標

狩猟、採集や農耕の生活、古墳について調べ、大和朝廷による国土の統一の様子が分かるようにする。

4 事前指導

・縄文のむらのくらしの様子を、教科書や資料集の絵を参考にして考える。

・修学旅行での勾玉作り体験などを振り返らせ、作り方を想起させる。

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定

（内容）：全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用）

（2）体験学習

・石のアクセサリー（13名）

・石器作り（27名）

・編布（10名）

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

ワークシートに学んだ内容を記入。作文等を書かせる。

利用学習報告書

平成24年7月2日

担当 第6学年 武田 泰浩

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年6月26日（火） 1～4校時

(2) 主な内容

社会科の授業で、縄文の森で見学した生活について探検ノートにまとめた。
宿題で日記を書くことを通して、学んだことを再構成してまとめた。

2 送付する資料

教師の感想等（1名分）と児童生徒の学習後の感想（3名分）

縄文の森広場見学教師の感想(体験・見学・児童を引率して)

- ・縄文時代は非常に長い期間であるにも関わらず、学習時間が非常に少ない。その時代の生活の様子や、生活用具作りなどの体験ができる施設は、大変貴重である（維持管理が大変でしょうが）。
- ・私は石器作り体験を見学しましたが、児童の安全への配慮が徹底しており、安心して活動に参加させることができた。ゴーグル、軍手など物の準備もさることながら、平塚さんはじめ、施設の方々の説明や補助の様子に、細かい行き届いた配慮を感じた。
- ・事前の打合せの実施により、担任が安心して児童を引率することができた。どこで何をするのか、どこに何があるのかなど、丁寧に説明していただいた。

最後になりましたが、平塚様はじめ縄文の広場の皆様には大変丁寧にご指導、ご配慮いただきましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

仙台市立郡山小学校 6学年主任 武田 泰浩

縄文の森広場体験・見学 児童の感想

- ・私は編布を作りました。始めは頭が混乱して何回もやり方を間違えました。でも、お姉さんに直してもらい、やり方を覚えると、後はすいすいできました。縄文時代は、こんな感じで編んでいたのかと、作りながら考えていました。上手にできあがりしました。よかったです。(N子)
- ・縄文の森広場にある家に入りました。昔の家はとてもせまくて、天井が低いんだなあと感じました。昔の人は、身長が150cmくらいだったと聞いて、だから天井が低いんだ、なるほどと思いました。他にもいろいろなことが分かり、勉強になりました。(A子)
- ・体験学習で、私は矢じりを作りました。まず、石のはじっこを削っていきました。ここまでは簡単にできたのですが、次からぐーんと難しくなりました。石が分厚い所は、特に削るのが大変でした。形を作るのがこんなに大変だとは思わなかったので、いい体験となりました。(M子)